

⑤ セミの抜け殻しらべ

1 子どもたちに伝えたいこと

- ・セミの一生を知ることによってセミの面白さ不思議さを知ってもらう。
- ・種やオスメスの判別の面白さ、難しさを体験してもらう。
- ・野外で抜け殻集めをすることで、身近な生きものに親しむ。
- ・抜け殻の数や種類からその場所の環境について考える。

2 実施時期：7月～9月

3 実施場所：屋内（セミクイズ・見分け方）

野外（抜け殻探し、種とオスメスの判別、集計）

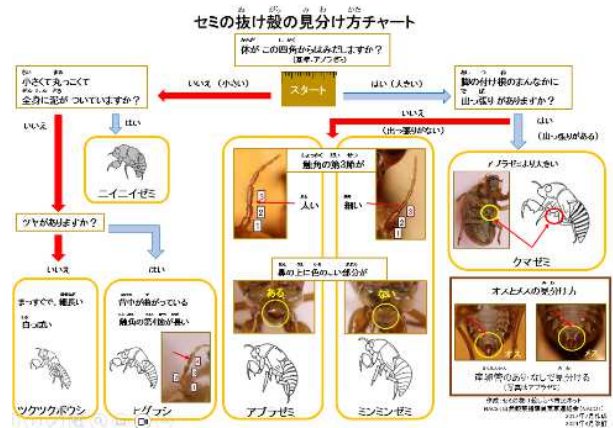
4 対象学年：低学年～中学年

5 関連教科：生活科、理科、総合

6 時数：2時限（室内1時限、野外1時限、 または野 外 2時限

7 事前準備

- ・公園管理者への申請（必要な場合）
- ・フィールドの下見、抜け殻の数、種類の豊富さなど チェック。
- ・できれば数カ所の調査場所を設定。
- ・見分け方の事前学習
- ・資料の作成・印刷



＜セミの抜け殻見分け方チャート＞

8 当日

(1) 準備する教材や道具

学校：虫めがね、イチゴパックなど入れ物、印刷した資料、記録集計用紙

どんぐりクラブ：セミクイズ、セミの抜け殻見分け方チャート、抜け殻サンプル、分別用容器

(2) 授業の流れ

- ① あいさつ
- ② セミの一生について解説（セミクイズ）
- ③ 抜け殻の見分け方（見分け方チャート）
- ④ 抜け殻探し
- ⑤ 抜け殻の種とオスメスの判別、調査場所ごとに集計
- ⑥ まとめ

- ・調査場所によって抜け殻の数や種の構成に違いがないか、数や種類からその場所の環境について考える。



＜セミの抜け殻サンプル＞

9 備考

- ・低学年の場合、ねらいを「抜け殻を見つけて、自分で触って集めること、身近な生きものに親しむこと」としても良い。
- ・7月に室内でセミの一生クイズ、見分け方のレクチャーをし、9月に野外で抜け殻探しと種とオスメスの判別、集計を実施するのも良い。
- ・抜け殻の採集は手の届く範囲とし、子供が手の届かない場所の抜け殻を見つけて採ってほしいと言われた場合は、大人が手の届く範囲で採ってあげるのは構わない。原則として捕虫網などの道具は使わない。